

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	内山真一郎
大友 英一	梶 龍児
金澤 一郎	高坂 新一
作田 学	島津 浩
杉田 秀夫	高倉 公朋
塚田 裕三	辻 省次
寺本 明	中里 洋一
中込 忠好	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 将	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

北園先生による今号のポートレイト「勝木司馬之助 医の心人の心」を読ませていただき、大きな感銘を受けた。勝木先生は、水俣病やカネミ油症の原因究明や久山町研究の創始など、研究者としても優れた業績を残したが、「医の心」を重んじる素晴らしい臨床医であった様子が如実にうかがえた。「医者とは患者さんから学べ」という恩師武谷廣先生の教えを忠実に守り、患者さんの立場に立って誠実に医療・医学に取り組んだという。九州大学教授退官にあたっての最終講義でも「内科医というのは、人間として優れた常識人であり、知識人としても、あるいは医学者としても、基本的には水準の高い内科学を常識として持っている人でなければならない」と述べているのは、まさに医師かくあるべしといったところである。

医師の常識（良心）、physician's common sense (conscience) とはいかなるものであろうか。昨今、さまざまな場面でこの問題がクローズアップされているが、おりしも11月には安楽死・尊厳死をめぐる医の倫理を考えさせるニュースがあった。末期の脳腫瘍を患った米国の若い女性が11月1日に自らの命を絶つと予告する動画をインターネット上で公開し、その動画を数百万人が閲覧して話題を呼んだ。治療法もなく、激しい頭痛に悩まされ、これ以上苦しむ前に自ら死ぬことを決めたこの女性は夫ともに当時住んでいたカリフォルニア州から、米国内で「死ぬ権利」が認められているオレゴン州に移り住み、その権利を行使した。

2013年の調査では、米国人の70%が、痛みを伴わない方法であれば末期患者の尊厳死を認めるとしているらしい。日本でも同様の意見は少なくない。回復しない致死的な病と持続する痛み・苦しみを前に、自ら死を選ぶ権利を主張することはごく妥当なことのようにも思える。しかし、その一方で、もしこの主張を容認すれば、その拡大解釈の延長線として、耐えられない苦痛に苛まれているうつ病の人も、自分の記憶が日々失われていることに絶望したアルツハイマー病の人も、あるいは自殺を考える誰もが「自ら死を選ぶ権利がある」ことになってしまう。現に先日、ある医学生と話していて、「死にたいという人の自殺は止めない」と言うのを聞いて驚いた覚えがある。

現在、尊厳死は上述のオレゴン州以外、米国の4つの州や、オランダ、ベルギー、ルクセンブルクでも一定の条件の下で合法化されている。勝木先生であつたら、安楽死・尊厳死問題についてはどのように考えるであろうか。

(三村 将)

BRAIN and NERVE (第67巻 第1号)

2015年1月1日(毎月1回1日発行)

定価: 本体2,700円+税(送料実費)

2015年 年間購読料(送料弊社負担)

冊子版34,080円、冊子+電子版(個人)39,080円/(共有)44,240円、

電子版(個人)34,080円/(共有)39,240円

※2015年より年間購読料は本体価格表示となります。

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通(03)3817-5701 (小藤・風間・山崎)

販売部直通(03)3817-5659

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

オンライン投稿 ID: brain パスワード: nerve

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2015, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、その都度事前に(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ※「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。